

「愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策の実施状況と数値目標・重要業績評価指標（KPI）の達成状況

基本目標

1 しごとづくり

本県最大の強みであるモノづくり産業の高度化・高付加価値化を図るとともに、全国有数の産出額を誇る農林水産業の競争力を高めることなどにより、日本の「産業首都」としての中核性をさらに高め、質の高い「しごと」を創出する。

【数値目標の達成状況】

目標項目	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標値(2020年(度))
県内総生産の全国シェア	7.0% (2003～2012年度の平均) 7.3% (2012年度)	7.4% (2015年度)	7.5%
製造品出荷額等の全国シェア	13.6% (2004～2013年の平均) 14.4% (2013年)	14.9% (2016年)	14.5%
輸出額の全国シェア	18.7% (2005～2014年の平均) 20.1% (2014年)	19.6%	21.0%
農林水産業(第一次産業) 県内総生産の全国シェア	3.2% (2003～2012年度の平均) 3.1% (2012年度)	3.0% (2014年度)	3.5%
就業者数	383万人 (2005～2014年の平均) 391万人 (2014年)	396万人	年390万人程度を維持
1人当たり県民所得	国を19%上回る (2003～2012年度の平均) 国を25%上回る (2012年度)	国を19.7%上回る (2015年度)	全国平均を 25%上回る

【主な施策の実施状況と重要業績評価指標（KPI）の達成状況】

(1) 次世代産業の振興

① 次世代自動車の普及促進

- 旅客・貨物運送事業者や中小企業等の次世代自動車導入経費を補助(2017年度:297台、累計:3,791台)
- 電気自動車(EV)・プラグインハイブリッド自動車(PHV)・燃料電池自動車(FCV)に対する自動車税の課税免除(2017年度:6,584台、累計:20,873台)
- 燃料電池フォークリフト導入支援(2017年度:フォークリフト導入補助1件(2台)、水素供給整備補助1件)
- 水素ステーションを整備・運営する事業者に対する補助を実施(2017年度:整備費補助1件、需要創出活動費補助15件)
- 県内10市町で国の規制緩和の動きと連動した最先端の遠隔型自動運転システムを含む実証実験を実施、うち5市についてモニター調査を実施

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標(2020年(度))
EV・PHVの普及台数(累計)	10,530台	22,993台	42,000台
水素ステーションの整備数(累計)	13基	17基	40基
充電インフラの整備基数(累計)	1,171基	1,796基	2,000基
自動運転・自動車安全技術実証実験	3件	21件 (2017年度5件)	5年間で20件

② 航空宇宙産業の育成

- 国際戦略総合特区に基づく規制の特例措置や税制等の支援措置の活用
- 県営名古屋空港及び周辺での民間航空機生産・整備拠点の整備(駐機場の整備、改修)
- 航空機製造技能者育成講座への支援、生産技術者養成研修・現場技能職基礎知識講座・工業高校生等向けセミナーの開催(2017年度:1,049人日受講、累計:3,292人日受講)
- 国際航空宇宙展2018東京及びエアロマート・ツールズ2018出展支援、コンソーシアムを立ち上げ海外販路開拓の推進(2018年度新規)
- 「あいち航空ミュージアム」のオープン(2017.11)

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標(2020年(度))
航空宇宙産業における品質認証取得件数(累計)	130件	164件	160件
中部地域の航空宇宙産業の生産高(年間)	0.83兆円(2013年)	1.10兆円(2015年)	1.18兆円
航空宇宙産業の人材育成研修受講者数(累計)	—	3,292人日 (2017年度1,049人日)	12,000人日
あいち航空ミュージアム来場者数(年間)	—	約20万人 (2017年11月オープン)	35万人

③ ロボット産業の育成

- 「あいちロボット産業クラスター推進協議会」を核とした新たな技術・製品開発、実用化の促進
- 中小企業による産業用ロボット導入促進のためのセミナーの開催やマッチング支援
- ロボカップ2017名古屋世界大会の開催(来場者数:129,615人)、ワールドロボットサミット(2020年)の開催準備
- リハビリ遠隔医療支援システム及びリハビリ支援ロボットの実証支援
- 「あいちサービスロボット実用化支援センター」の運用、サービスロボットの社会実装に向けた補助の実施(2018年度新規)

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標(2020年(度))
ロボット製造業の製造品出荷額等国内シェア	21.9%(2013年)	20.7%(2015年)	30%
サービスロボット実用化支援・相談対応件数(年間)	—	152件	100件

④ 健康長寿産業の育成

- あいち健康長寿産業クラスター推進協議会の運営
- メディカル・デバイス産業振興協議会(事務局:名古屋商工会議所)への参画
- 医療機器の展示商談会「メディカルメッセ」の開催(2017年度:155社、3,961人参加)

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標(2020年(度))
モノづくり企業と福祉施設・医療機器メーカー等とのマッチング件数(年間)	67件	151件	70件

⑤環境・新エネルギー産業の育成

- 「知の拠点あいち」における「新エネルギー実証研究エリア」の運営（2017年度実証企業等：2者採択）
- 「愛知県新エネルギー産業協議会」における各種研究会の開催
- スーパークラスタープログラム（先端ナノツールによるエネルギー・イノベーション・クラスター）の実施（2017年度：5大学、6研究機関、延べ34企業が参加）
- あいち資源循環推進センターによる総合的な支援、先導的な循環ビジネスに係るセミナー・見学会の開催（2017年度：セミナー・見学会各2回）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
新エネルギーに関する共同研究件数	—	6件 (2017年度2件)	5年間で10件

⑥コンテンツ、デザイン等の都市型産業の育成

- 知の拠点あいちの「あいち産業科学技術総合センター」内の「産業デザイントライアル」における、産業デザインに関する相談、三次元造形装置などの機器を用いた試作、情報提供
- 「あいちベンチャーハウス」でのインキュベーションマネージャーによるITベンチャー企業支援
- 「愛知県IoT推進ポータル」での相談対応、プロジェクト組成等によるIoTの導入・活用支援

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
あいちベンチャーハウス入居企業のうち成長率（売上高前年度比増加率10%以上）を達成した企業の割合	53.1% (2010～2014年度平均)	50.0%	50%以上
ITスキル向上研修等参加者数（年間）	—	320人	100人
知財相談件数（年間）	3,374件	4,973件	3,000件以上

(2) 研究開発機能の強化

- 「あいち産業科学技術総合センター」での依頼試験や技術相談、試作・評価による企業の製品開発支援、共同研究の実施、研究成果の情報発信
- 「知の拠点あいち」における「あいちシンクロトロン光センター」の運営・機能強化支援、地域企業へのシンクロトロン光施設の利用料の減額、共同研究室の設置補助、名古屋大学と連携したビームラインの利用促進
- 重点研究プロジェクトの実施（Ⅱ期（2016～2018年度）、次世代ポット社会形成、近未来水素エネルギー社会形成、モノづくりを支える先端材料・加工）（17大学、11研究機関、延べ99企業参加）
- 愛知・名古屋ゆかりのノーベル賞受賞者の業績などを発信する施設の名古屋市科学館サイエンスホールでの整備に向けた設計を名古屋市と共同で実施
- 世界青少年発明工夫展2017（2017.7.27～29）、「愛知の発明の日」記念講演会の開催（同7.28）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
あいちシンクロトロン光センターの利用件数	1,235件 (2013～2014年度平均)	4,973件 (2017年度1,713件)	5年間で7,000件

(3) 中小・小規模企業の振興

①新規事業展開、販路開拓への支援

- 経営革新計画の申請窓口を商工会・商工会議所等に広げ、中小企業の新たな取組を支援
- （公財）あいち産業振興機構によるワンストップ支援、愛知よろず支援拠点の運営、豊橋テラトの運営（2017年度：セミナー176回、相談会74回開催、累計：セミナー414回、相談会165回（うち豊橋テラト：セミナー88回、相談会45回））
- 「あいち中小企業応援ファンド」による新事業展開に対する助成
- 繊維・窯業等の地場産業の産地組合が行う海外及び首都圏での展示会への出展・開催や若手デザイナーの招聘等に対する支援

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
経営革新計画の承認件数	202件	1,077件 (2017年度243件)	5年間で1,500件
ワンストップ支援窓口の利用件数	4,635件 (2011～2014年度平均)	21,188件 (2017年度7,406件)	5年間で25,000件
中小企業の製造品出荷額等シェア	8.5% (2013年)	8.6% (2015年)	10%

②事業承継、業態転換への支援

- 名古屋商工会議所に設置された「愛知県事業引継ぎ支援センター」との連携による中小企業の引継ぎ支援
- （公財）あいち産業振興機構等と連携した事業承継に関するセミナーの開催（2017年度：378人参加、累計699人参加）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
事業承継に係る認定件数【修正】	10件	86件 (2017年度26件)	5年間で50件 ⇒5年間で180件

③海外展開の支援

- 「あいち国際ビジネス支援センター」における相談対応、貿易実務講座や海外展開・国際ビジネスに関するセミナーの開催（2017年度：セミナー94回、累計：314回）
- （公財）あいち産業振興機構による金融、法務、海外販路拡大支援
- （独）日本貿易振興機構（ジェトロ）との覚書に基づく連携事業の推進

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
あいち国際ビジネス支援センターの利用件数（年間）	977件	814件	800件
海外拠点における相談件数（年間）	159件 (2010～2014年度平均)	449件	250件

(4) 創業支援

- 「創業プラザあいち」における創業準備の支援（2017年度：相談件数 1,842 件）、セミナーの開催（同：14 回延べ 373 人参加）、講座の開催（同：57 回延べ 811 人参加）、有望ビジネスマッチング交流会の開催（同：12 社 119 人参加）
- 新しいアイデアを持った人材の発掘、起業家としての育成、I o T・A I 等を活用する革新的な技術・アイデアを有するベンチャー企業に対して、著名起業家等による短期集中支援や事業連携等の支援（2018 年度新規）
- 創業等支援資金（制度融資）の融資限度額の拡充及び金利の引下げ（2018 年度）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014 年（度））	現状値（2017 年（度））	目標（2020 年（度））
創業プラザあいちにおける創業件数	14 件	57 件 (2017 年度 24 件)	5 年間で 75 件
あいちベンチャー入居企業のうち成長率（売上高前年度比増加率 10%以上）を達成した企業の割合【再掲】	53.1% (2010～2014 年度平均)	50.0%	50%以上

(5) サービス産業の支援施策の充実

- 経営革新計画の申請窓口を商工会・商工会議所等に広げ、サービス産業を営む中小企業の新たな取組を支援
- 先進的なサービスを提供する中小企業の選考・表彰、サービス産業の生産性向上に資する研修やセミナーの情報を発信するポータルサイトの開設（2018 年度新規）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014 年（度））	現状値（2017 年（度））	目標（2020 年（度））
サービス産業の経営革新計画の承認件数	97 件	335 件 (2017 年度 91 件)	5 年間で 600 件

(6) 海外とのパートナーシップの構築

- 「愛知県・江蘇省友好書道展」の開催、江蘇省やベトナムとの経済交流、江蘇省やベトナムに設置したポータルデスクによる進出企業支援
- タイ・バンコク都との交流の推進、バンコク産業情報センターでの情報提供、タイ王国工業省との交流の推進
- 中国・広東省との交流の推進
- インドとの交流の推進、現地に設置（2016 年 1 月）したポータルデスクによる進出企業支援
- 韓国・京畿道との友好交流及び相互協力に関する覚書の締結（2015 年 11 月）
- アメリカ・テキサス州との友好交流及び相互協力に関する覚書の締結（2016 年 4 月）
- ベトナム・ホーチミン市との友好交流及び相互協力に関する覚書の締結（2016 年 9 月）
- アメリカ・ワシントン州との友好交流及び相互協力に関する覚書の締結（2016 年 10 月）
- インドネシア共和国経済担当調整大臣府との経済交流に関する覚書の締結（2017 年 2 月）
- ベルギー・3 地域との友好交流及び相互協力に関する覚書の締結（2017 年 5 月）
- 米国インディアナ州との友好交流及び相互協力に関する覚書の締結（2017 年 9 月）
- 米国ケンタッキー州との友好交流及び相互協力に関する覚書の締結（2017 年 10 月）
- インドネシアに設置したポータルデスクによる進出企業支援（2018 年 1 月）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014 年（度））	現状値（2017 年（度））	目標（2020 年（度））
交流事業の実施件数	8 件	47 件 (2017 年度 14 件)	5 年間で 40 件

(7) 産業人材の育成

①モノづくりなど産業を支える人材の育成

- 「愛知県産業人材育成センター」（2016 年 4 月県庁内に開設）における、企業 O B を活用した「産業人材育成連携コーディネーター」による産業人材育成に関する相談支援や情報提供
- モノづくり中小企業のインターンシップ受入促進、中小企業経営者を対象とした人材育成に関する講話・意見交換会の開催、ポータルサイト「ひと育ち・あいち」の運営
- 2019 年度全国アビリンピックの本県開催決定（2018 年 1 月）、2019・2020 年度技能五輪全国大会・全国アビリンピックの開催に向けた準備、機運醸成
- 2023 年技能五輪国際大会の日本・愛知への招致方針の決定（2017 年 9 月）
- 小・中学校、特別支援学校への技能五輪タレント等の派遣（2017 年度：52 校）及び少年少女技能大会の開催、中小企業若手技能者競技大会の開催
- 繊維・窯業産地における若者人材確保支援
- 県立高等学校における S T E M に重点をおいた教育の推進、小中学生を対象とした S T E M 教育講座や工業高校生を対象とした愛知総合工科高等学校専攻科の設備を活用した S T E M 教育に関する講座の開催（2018 年度新規）
- 県立愛知総合工科高等学校の開校（2016 年 4 月）及び名古屋工業大学・愛知工業大学との連携協定の締結（2016 年 4 月）、専攻科の公設民営開始（2017 年 4 月）
- 建設業の担い手の確保・育成のための研修の実施やマニュアル等の策定（2016 年度）、マニュアル等の建設業団体への配布・周知（2017 年度）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014 年（度））	現状値（2017 年（度））	目標（2020 年（度））
高校生の技能検定合格者数（年間）	642 人（2013 年度）	768 人	800 人
技能検定合格者数（年間）	7,846 人	8,284 人	8,500 人
普通課程の普通職業訓練修了者の就職率（年間）	98%	94%（2016 年度）	95%
認定職業訓練生数（年間）	22,364 人	21,262 人	25,000 人
建設業技術者・技能労働者新規雇用者数	2,057 人	4,726 人 (2017 年度 1,389 人)	5 年間で 11,500 人

②グローバル人材の育成

- あいちスーパーイングリッシュハブスクール事業における人材の育成及び取組成果の普及（ハブスクール指定 12 校）、イングリッシュキャンプ in あいちの実施（2017 年度：3 回 238 人参加）
- 愛知県立大学における「グローバル人材プログラム」の実施、留学生の派遣や受入の充実、多言語学習センター（iCoToBa）の運用

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014 年（度））	現状値（2017 年（度））	目標（2020 年（度））
ハブスクールを中心とした地区別授業研修（年間）	2 回	2 回	2 回
愛知県立大学英米学科卒業生のうち TOEIC で 800 点以上獲得した者の割合	43.7%	47.5%（2016 年度）	2016 年度に 70%

(8) 農林水産業の振興

①農林水産業の市場拡大

- 愛知県6次産業化サポートセンターにおける相談や研修会・交流・商談会の実施
- あいちの農林水産物（名古屋コーチン、花、抹茶、小麦、あさり、うなぎ等）のブランド力強化に向けた試食会等のPRイベント等の実施
- 海外バイヤーが参加する花き展示商談会に農業団体とともに出展（JFIトレードフェア等（豊明花き市場、2017年9月・2018年1月））
- 生産者、流通関係者との交流による商品開発や販路開拓を支援する「いいともあいち交流会」の開催（商談数：718件）
- 「いいともあいち運動」ネットワーク会員や推進店の登録数の拡大（2017年度末：会員数1,521会員、推進店1,064店舗）、地場産物を取り入れた「学校給食献立コンクール」等の開催
- 関係者と連携した「あいち認証材」の普及・啓発、県産木材を利用した住宅建設への支援

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
愛知県が行う6次産業化への支援件数	227件	731件 (2017年度272件)	5年間で1,135件

②生産性の高い農林水産業の展開

- ICTを活用した先端技術「あいち型植物工場」導入の際の経費補助（11地区）、生体や環境に関するビッグデータを利用したAIによる環境制御ナビゲーションシステム等の開発・普及（2018年度新規）
- 「愛知123号」のブランド確立に向けたICTやドローンを活用した水田生育診断プログラムの開発やブランド化推進協議会による知名度向上の取組実施（2018年度新規）
- 「農地中間管理機構」への運営支援（2016年度：集積面積103ha、2017年度：322ha）
- 高性能林業機械の導入支援、ICTを活用したスマート林業の推進（2018年度新規）、少花粉まぎの苗木安定供給、循環型林業の技術実証・普及、「全国植樹祭」・「全国林業後継者大会」（2019年度）の開催準備
- 水産種苗生産・放流及び栽培漁業の推進、漁業者の資源管理の取組への指導、総合的なうなぎ資源保護の取組、漁業調査船「海幸丸」の更新

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
県農林水産関係試験研究機関において民間企業等と実施する共同研究数	8件	30件 (2017年度10件)	5年間で40件

③農林水産業の担い手の確保・育成

- 「農起業支援センター」における、就農希望者・企業の相談や生産技術指導による支援（2017年度：相談件数 個人450件、企業等41件、累計：相談件数 個人931件、企業等59件）、農業次世代人材投資資金による支援、女性農業者の活躍支援、各地農業塾の連携強化
- 愛知県林業労働力確保支援センター、漁業就業者確保育成センター等と連携した就業相談
- 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域共同活動への支援

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
新規就農者、新規林業就業者、及び新規漁業就業者数の合計（年間）	271人 (2010～2014年度平均)	339人	285人

④鳥獣被害対策等の推進

- 農林水産物への被害を防止する取組を行う市町村や地域協議会への支援、市町村被害防止計画の策定支援（計画策定市町村：31市町村）
- 第二種特定鳥獣管理計画の策定（2017年4月）・推進
- NPOや民間事業者との共同による愛知産ジビエのPR、愛知産ジビエの販路拡大と消費拡大の情報を発信する関係者のネットワーク組織の形成
- 外来種対策研修会の開催、専門家派遣による指導助言、侵略的外来種に関する調査実施

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
鳥獣被害対策実施隊等の捕獲リポーター数	39人	207人	210人

2 魅力づくり

“Heart” of JAPAN をキーワードに、強みである Technology（技術）と Tradition（伝統）を生かして、本県の魅力を国内外に発信し、多くの人々が訪れ、滞在してもらえる地域をつくる。

【数値目標の達成状況】

目標項目	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標値（2020年（度））
来県者数	3,551万人（2012～2014年の平均） 3,817万人（2014年）	4,506万人 （2016年）	5,000万人
観光消費額	6,263億円（2012～2014年の平均） 7,270億円（2014年）	8,320億円 （2016年）	1兆円
愛知県を訪れる観光客の満足度	82.9%（2012～2014年の平均） 80.1%（2014年度）	79.9% （2016年）	90%

【主な施策の実施状況と重要業績評価指標（KPI）の達成状況】

（1）地域ブランドの構築と効果的な情報発信

- 愛知万博の理念を継承するジブリパーク構想の推進、スタジオジブリ作成による基本デザイン及び開業目標時期（2022年度中）の発表
- 産業観光施設を巡るスタンプラリー（2017年度応募数：1,161人）、バスモニターツアーの実施
- 「サムライ・ニンジャフェスティバル2017」等の武将観光イベントの開催（来場者数：35,000人）、「徳川家康と服部半蔵忍者隊」による忍者観光の推進
- 台湾観光プロモーション、アジア大商談会の交流会での「なごやめし」の試食会実施
- ポップカルチャーイベント開催（2017年度：約7,300人参加）、世界コスプレサミットの開催支援
- ジャパンフィルムコミッション（JFC）主催のゆめ地フェアへの出展
- 「あいち山車まつり日本一協議会」の運営、ユネスコ無形文化遺産登録記念行事の開催（2017年1月）、クラウドファンディングを活用した保存会の支援
- 「あいち医療ツーリズム推進協議会」の運営、国際医療観光展覧会への出展及びPR動画等の作成（2018年度新規）
- 台湾での観光プロモーション、知事トッププロモーションの実施（ブース来場者：6,926人）
- 「モスコ愛知で待つ県」のキーワードのもと戦略的PRの実施、首都圏・関西圏における魅力発信
- JREステーションキャンペーンを核とした愛知県大型観光キャンペーンの実施準備（集中キャンペーン2018年10月～12月）
- 「外国人100人が選ぶあいち・なごやのお土産コンクール」の実施
- 油ヶ淵水辺公園の第1期開園（自然ふれあい生態園と水辺花園の一部オープン（2018年4月））

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
観光入込客数（年間）	1億544万人	1億981万人（2016年）	1億3,000万人
観光消費額（年間）【再掲】	7,270億円	8,320億円（2016年）	1兆円

（2）広域観光の推進

- 昇龍道日本銘酒街道推進会議の取組推進、産業観光・武将観光の推進
- 東海地区外国人観光客誘致促進協議会と連携した旅行会社・メディア招請
- 一般社団法人中央日本総合観光機構・昇龍道プロジェクト推進協議会と連携したミッションの派遣

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
昇龍道9県の外国人宿泊者数（年間）	447万人泊	806万人泊	2020年までに 1,100万人泊
中部国際空港旅客数（年間）	990万人 国際線：450万人 国内線：540万人	1,154万人 国際線：556万人 国内線：598万人	1,500万人 国際線：800万人 （うち訪日外国人400万人） 国内線：700万人
観光入込客数（年間）【再掲】	1億544万人	1億981万人（2016年）	1億3,000万人

（3）MICEの誘致

- G20外務大臣会合（2019年）の本県での開催決定（2018年4月）
- 「愛知・名古屋MICE推進協議会」によるMICE誘致の取組の推進（国内MICE見本市（IME）、海外MICE見本市（IBTM World（スペイン・バルセロナ））への出展等）、「あいち国際会議開催補助金」による助成（2017年度：1件助成）
- 愛知県国際展示場の整備、愛知国際会議展示場株式会社（GL events SA及び前田建設工業株式会社が設立した特別目的会社）と愛知県国際展示場コンセッション公共施設等運営権実施契約の締結（2018年4月）
- 中部国際空港エリアにおける国際競争力の高い「MICEを核とした国際観光都市」の実現を目指した魅力ある機能整備の具体化に向けた検討の実施（2018年度新規）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
国際会議の開催件数（年間）	154件（2013年）	210件（2016年）	200件（2020年）

（4）スポーツ大会を活用した地域振興

- 第20回アジア競技大会（2026年）の開催に向けた準備
- 新体育館の整備に向けた検討
- 愛知・豊田ラグビーフェスタ2018の開催（観戦者：7,091人）など「ラグビーワールドカップ2019」に向けた機運の醸成
- 「FIFAフットサルワールドカップ2020」のFIFA国際サッカー連盟への招致活動
- 「マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知」、「新城ラー」、「アイアンマン70.3セントレア知多半島ジャパン」などのスポーツ大会のさらなる育成、「2018アーバンリサーチISAワールドサーフィンゲームス」の開催支援

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
ラグビーワールドカップ2019の観戦者数（県内会場での1試合平均）【修正】	—	（2019年9～11月開催）	30,000人 ⇒38,500人
FIFAフットサルワールドカップ2020の招致	—	—	2020年開催
FIFAフットサルワールドカップ2020の観戦者数（県内会場での1試合平均）	—	（2020年開催）	3,000人
「名古屋アイアンマン」の県外・海外からの出場者数	12,649人	16,389人	15,000人

(5) 文化芸術の創造・発信

- 「あいちトリエンナーレ2019」の開催準備
- 地域伝統芸能全国大会「地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会」の開催（2018年11月）
- 芸術文化センターでの舞台芸術や美術展や、陶磁美術館における文化芸術体験プログラムの実施
- 「愛知県文化芸術振興条例」（2018年3月）の制定を記念し、条例制定記念イベントの開催やワークショップの実施

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
愛知芸術文化センター（栄施設）入場者数（年間）	194 万人 （2010～2014 年度平均）	142.3 万人	200 万人
県陶磁美術館来館者数（年間）	10.3 万人 （2010～2014 年度平均）	6.8 万人	10.5 万人

(6) 受入態勢及び観光交流拠点機能の強化、観光人材の育成

- 県有施設における無料公衆無線LAN環境の整備（2017年度：11か所）
- ムスリム観光客の受入環境整備のためのセミナー開催（2017年度：49人参加）
- 観光・宿泊施設のバリアフリー対応状況の調査及び情報発信や旅行事業者等を対象としたバリアフリー対応セミナーの開催（2018年度新規）
- 北米・中国・マレーシア（2016年度）、ドイツ・インドネシア・台湾（2017年度）、インドネシア・タイ・韓国（2018年度予定）の航空会社に対するエアポートセールスの実施、教育旅行における航空機利用の促進、外航クルーズ船社等へのエアポートセールスの実施

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
観光入込客数（年間）【再掲】	1億544万人	1億981万人（2016年）	1億3,000万人
観光消費額（年間）【再掲】	7,270億円	8,320億円（2016年）	1兆円

3 人の流れづくり

次世代の成長分野など魅力ある企業の集積や、大学の活性化を図ることなどにより、若年者を中心とした東京圏への人口流出の流れに歯止めをかけるとともに、国内外から愛知に人を呼び込む流れをつくる。

【数値目標の達成状況】

目標項目	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標値(2020年(度))
県外との転出入者数	12,603人 (1990～2010年の平均)	60,208人 (2017年20,178人)	5年間で 65,000人の転入超
労働力人口の全国シェア	6.0%(2005～2014年の平均) 6.1%(2014年)	6.0%	6.2%

【主な施策の実施状況と重要業績評価指標(KPI)の達成状況】

(1) 企業誘致

①産業立地の支援

- 「産業空洞化対策減税基金」を原資とした企業立地・研究開発・実証実験への支援(2017年度：研究開発・実証実験91件、21世紀高度先端産業立地補助金2件、新あいち創造産業立地補助金42件)
- 次世代分野をターゲットとした戦略的企業誘致活動(指定された区域内で航空宇宙関連企業の土地・家屋を取得する際の不動産取得税の減免：2017年度 免除2件)

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標(2020年(度))
次世代成長産業等の企業立地件数	6件	45件 (2017年度15件)	5年間で40件

②外資系企業の誘致

- 外資系企業向け貸オフィスの活用、ジェトロへの研修生派遣、ジェトロとの「包括的業務協定に関する覚書」に基づく連携事業の推進

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標(2020年(度))
外国企業の誘致件数	7件	27件 (2017年度13件)	5年間で35件

(2) 大学等の活性化

①大学等の資源を生かした地域連携の促進

- 県内大学と県教育委員会の連携、市町村教育委員会との連携促進のためのウェブサイト「あいち学校連携ネット」の運営
- 愛知県立大学テラトキャンパス等における一般向け学術講演会・公開講座等の実施、愛知県立芸術大学テラトギャラリー等における展覧会、演奏会の開催

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標(2020年(度))
県内大学(理工系学部等)及びあいち産業科学技術総合センターにおける共同研究数(年間)	1,287件	1,588件 (2016年度)	1,300件
愛知県立大学による一般向け学術講演会及び公開講座の開催件数(年間)	8企画 (2010～2014年度平均)	18企画	10企画(2018年度)

②大学等と連携した県内企業への就職支援

- 大学生等向け合同企業説明会の開催(2017年度：20回、533社、1,311人参加)

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標(2020年(度))
県内企業と県内学生とのマッチング数(年間)	5,608人	5,031人	6,000人

(3) 移住・定住の促進

①地方移住希望者への支援体制

- 東京・名古屋への「あいちUIJターン支援センター」の設置、就職イベントの実施や相談窓口の開設
- 「三河の山里ポータルデスク」の運営、都市住民との交流イベントの開催、交流移住マッチング事業の実施、交流移住情報の受発信、交流移住促進のために取り組む集落への支援
- 東京圏の大学生などの若者層をターゲットとした愛知の「住みやすさ」の発信

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標(2020年(度))
あいちUIJ支援センターの利用件数(年間)	—	5,234件	3,000件
三河の山里ポータルデスク登録者数(累計)	27人	51人 (2017年度15人)	100人

②UIJターン希望者と県内企業のマッチング支援

- 「愛知県プロフェッショナル人材戦略拠点」の設置による、県内中小企業が抱える経営課題等を解決するプロフェッショナル人材ニーズの発掘とマッチングの支援
- 首都圏等の若者と県内企業を結びつけるための説明会・愛知ブランド企業説明会の実施(2017年度：8回)

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標(2020年(度))
30～50代の県外人材への支援件数(年間)	—	国交付金事業終了のため実績なし (参考：2015年度1件)	50件
東京でのUIJターン合同企業説明会参加者数(年間)	—	国交付金事業終了のため実績なし (参考：2015年度75人)	600人

(4) 海外からの人材獲得

- 大学院レベルの技術系留学生のアジア諸国からの受け入れ、学費等奨学金の支給（2017年度：新規10人受入）
- 留学生インターシップ（2017年度：参加留学生86人（うちマッチング成立留学生55人）、参加企業43社（うちマッチング成立企業28社））の実施、留学生向け企業見学会等の開催、留学生向け合同企業説明会への協力

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
県内で就職を目的として在留資格を変更した留学生数（年間）	665人	949人（2016年）	700人

(5) 人の流れを支える社会基盤の整備・機能強化

- 名古屋駅のスーパーターミナル化の推進を図るために、名古屋市が行うわかりやすい乗換空間の形成等に関する検討調査に対する支援等、名古屋駅周辺まちづくり構想に基づく取組の促進
- 名鉄三河線複線化等による豊田市方面への速達化の検討、鉄道高架事業の推進
- 広域道路網（新名神高速道路・三遠南信自動車道・東海環状自動車道の整備促進、東海北陸自動車道の4車線化）の事業推進
- 中部国際空港における二本目滑走路（完全24時間化）を始めとする機能強化の早期実現に向けた国等への働きかけ、LCC（格安航空会社）や貨物便の拠点化
- 名古屋港の機能強化等の実施、三河港及び衣浦港に係る港湾施設の整備

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
中部国際空港旅客数（年間）【再掲】	990万人 国際線：450万人 国内線：540万人	1,154万人 国際線：556万人 国内線：598万人	1,500万人 国際線：800万人 （うち訪日外国人400万人） 国内線：700万人
2015年度までに新東名高速道路（浜松いなさJCT～豊田東JCT）の供用開始	—	供用済	2015年度
2018年度までに三遠南信自動車道（東栄IC～佐久間IC）の供用開始	—	—	2018年度

4 結婚・出産・子育て環境づくり

若い世代の経済的安定を図り、地域社会全体での子育てを支援する環境を整備していくことなどにより、結婚の意思を持つ若者の希望をかなえていくとともに、夫婦が希望する時期に安心して出産・子育てができるような環境をつくる。

【数値目標の達成状況】

目標項目	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標値(2020年(度))
合計特殊出生率	1.46	1.54(概数)	1.8(2030年)
若者(25~44歳)の完全失業者数	64,000人(2005~2014年の平均) 51,000人(2014年)	42,000人	50,000人以下
女性(25~44歳)の労働力率	67.4%(2005~2014年の平均) 70.1%(2014年)	73.1%	73.1%以上

【主な施策の実施状況と重要業績評価指標(KPI)の達成状況】

(1) 若者の経済的安定

① キャリア教育の推進

- 「キャリア教育ノート」を活用した小・中・高校を通じた体系的・系統的なキャリア教育の実施
- 県立高等学校(全日制)でのインターンシップ等の実施(18,243人)
- キャリア教育コーディネーター(2017年度:4人)を活用したインターンシップ受入先の開拓
- 東三河地域における中学生と特色ある学科・取組を有する高校の生徒との交流会の開催、キャリア教育に資する教員研修の実施

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標(2020年(度))
県立高等学校におけるインターンシップに参加した生徒数(年間)	10,899人(2013年度)	18,243人	18,000人

② 若者の就労支援

- 国と連携して運営する「ヤング・ジョブ・あいち」における就職相談から職業紹介までのワンストップ支援
- 市町村と連携した若年者就職相談窓口の開設、職場見学の実施(2017年度:延べ13社86人参加)、魅力発信セミナーの開催(同:4回49人参加)、就職に向けたガイドブック制作
- 若年求職者を対象とした社会人基礎力を補うための「就職支援塾」の開催(2017年度:146人参加)
- 企業内で若者の指導・相談に対応できる人材養成支援講座の開催、若手社員向け及び企業向けセミナー交流会の開催、定着アドバイザーのための社会保険労務士等の専門家の派遣

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標(2020年(度))
ヤング・ジョブ・あいちの利用者の就職者数(年間)	5,468人(2012~2014年の平均値)	6,426人(2015~2017年平均)	毎年度過去3年間平均値5%増
大学・短期大学卒業予定者の就職内定率	96.5%	97.6%	97.0%

(2) 結婚・出産・子育ての支援

① 結婚サポートの実施

- 「婚活協力団体」(118団体)、「ブライダル出会い応援団」(15団体)、「出会い応援団」(55団体)の登録、結婚支援ウェブシステムの運営
- 結婚支援や子育てに温かい社会づくりに関する事業を実施する市町村への助成

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標(2020年(度))
出会いの場を提供するイベント実施数(年間)	180回	650回	350回

② 妊娠・出産支援

- 女性に対する健康教室や健康相談の実施、企業や大学と連携した健康教育の実施
- 不妊専門相談や公開講座の実施、不妊治療(体外受精・顕微授精・人工授精)への助成(2017年度:体外受精・顕微授精5,579件、人工授精3,371件)

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標(2020年(度))
学校等と連携して妊孕力(にんようりょく)(妊娠する力)に関する健康教育を実施している市町村の数	—	8市(2016年度)	全市町村

③ 周産期医療体制の充実

- 分娩を取り扱う医師等への手当に対する助成(2017年度:91施設)、総合及び地域の「周産期母子医療センター」の運営助成(2017年度:14施設)、「救命救急センター」の併設促進

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標(2020年(度))
周産期死亡率(出産1,000件に対する周産期死亡数)	3.9(2013年)	3.7(2016年)	2010~2013年の平均値である3.9以下
産婦人科・産科の医師数	652人(2012年度)	674人(2016年度)	増加

④ 地域における子ども・子育て支援

- はぐみんカードの普及拡大及び協賛店舗の登録拡大(2017年度:新規協賛店250店舗)
- 保育所や認定こども園、幼稚園等で実施される一時預かりへの助成(2017年度:594か所)、市町村が実施する子育て支援拠点事業(同:357か所)や利用者支援事業(同:108か所)への補助
- 母子・父子家庭高等職業訓練促進資金貸付事業、児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業の実施
- 生活困窮者自立支援制度における子どもの学習支援事業の実施(2017年度:4か所、2018年度:9か所)
- 子ども食堂の設置拡大と資質向上を図るための支援事業の実施(2018年度新規)

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標(2020年(度))
子育て家庭優待事業登録店舗数	9,493店舗	8,854店舗	10,000店舗
養育支援訪問事業実施市町村数	35市町村(2013年度)	45市町村(2016年度)	全市町村
地域の子育て支援サービスなどを円滑に利用できるようサポートする利用者支援事業の実施市町村数	2市	33市	44市町村

⑤保育サービスの充実

- 幼児教育・保育施設（認定こども園、幼稚園、保育所）への施設型教育・保育給付（2017年度：認定こども園111か所、幼稚園13か所、保育所542か所）
- 家庭的保育（保育ママ）、小規模保育等への地域型保育給付（2017年度：家庭的保育28か所、小規模保育211か所、事業所内保育10か所）
- 保育士の雇用環境改善のための保育士資格を持たない短時間の保育補助者を雇い上げる民間事業者に対する、必要な経費の補助（2017年度：5市補助）
- 低年齢児の年度途中入所の保育需要に対応するため配置基準を超えて保育士を配置する市町村や1歳児に対する保育士の配置を基準よりも充実する市町村に対する補助
- 病院・保育所等に付設された専用スペースでの病児・病後児預かりへの助成（2017年度：68か所）、休日保育や延長保育に対する助成（2017年度（延長保育）：標準時間475か所、短時間256か所）
- 保育士以外の地域人材を生かした病児・病後児預かり事業の実施、病児保育を担う人材の質の維持・向上を図る研修の実施（2017年度：受講者33人）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
保育所の待機児童数	107人	185人	解消
病児・病後児保育の実施箇所数	60か所	84か所	86か所
延長保育の実施箇所数	856か所	1,033か所	990か所
休日保育の実施箇所数	54か所	58か所	59か所
事業所内保育の実施箇所数	213か所	332か所	増加

⑥放課後児童対策の充実

- 放課後児童クラブ整備及び運営費への助成拡充（2017年度：整備費助成42か所、運営費助成1,406か所）
- 認定資格研修（2017年度：受講者1,250人）、キャリアアップ研修（同：受講者936人）の実施

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
放課後児童クラブの待機児童数	458人	926人	解消
放課後児童クラブの登録児童数【修正】	41,174人	54,469人	52,004人⇒56,426人 (2020年5月1日時点)
放課後児童クラブ児童の放課後子ども教室等教育プログラムへの参加	37.1%	38.2%	全ての小学校区で実施

⑦子育て世帯の経済的負担の軽減

- 第三子以降の3歳未満児の保育料を無料化又は軽減する市町村に対する補助
- 私立幼稚園等における第三子以降の満3歳児の授業料の無償化に対する補助
- 私立小中学校、中等教育学校（前期課程）における授業料の軽減

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
第三子以降の子どもの満3歳到達年度末までの保育料の無料化・軽減に対する補助	実施	実施	継続実施
私立幼稚園等における第三子以降の満3歳児の授業料等無料化に対する補助	実施	実施	継続実施

(3) 女性の活躍促進

- 女性の活躍促進宣言の募集（2017年度までの累計：1,097社）、「あいち女性輝きカンパニー」の認証（同：378社）、中小企業に対する奨励金の支給（2017年度：75社）
- 女性の活躍促進サミット2017の開催（2017年11月）、中小企業向け女性の活躍推進セミナーの開催
- 「あいち・ウーマニクス研究会」における女性の活躍を通じた産業の創出や生産性向上、人材の育成・確保促進等に関する研究の実施
- 女子中高生の理系進路選択に向けた大学・企業取材及び情報発信や、女性技術者・研究者によるパネルディスカッションなどを実施する成果発表会の開催
- 女子大学生等を対象に就業継続を前提としたキャリアプランや職業観の形成を支援するセミナーの開催
- 女性の活躍プロモーションリーダーと連携した、県内中小企業等における女性の活躍の更なる促進（2018年度新規）
- 県内で活躍する女性のロールモデル、愛知の働きやすさ等、県内外の若い女性に向けた女性が輝く愛知の魅力の情報発信（2018年度新規）
- あいち子育て女性再就職サポートセンター（マ・ジ・ョブ・あいち）の運営（2017年度相談等件数：509件）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
女性の活躍促進宣言企業数（累計）【修正】	166社	1,097社	1,000社⇒2,000社
あいち子育て女性再就職サポートセンター（マ・ジ・ョブ・あいち）の利用件数（年間）【修正】	419件	509件	500件⇒600件
20代女性の東京圏への転出超過数（年間）	1,528人	1,976人	1,400人

(4) ワークライフバランスの推進

- 県内一斉に残業ゼロや有給休暇取得促進等の取組を呼びかける「あいちワークライフバランス推進運動」の実施
- 「愛知県ファミリーフレンドリー企業」の登録制度を運営し、専用ウェブサイトで登録企業の取組を紹介（登録企業：2017年度末1,248社）
- 「働き方改革アドバイザー」の企業への派遣により、長時間労働削減や休暇取得促進など働き方改革に関するアドバイザーの実施
- 労働者・一般県民に広く「働き方改革」を周知するための啓発活動や企業向けセミナーの開催（2018年度新規）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
ファミリーフレンドリー企業の新規登録企業数	1,129企業 (2014年度末現在登録企業数)	94企業	毎年60企業
年次有給休暇取得日数	8.2日	9.5日	10日
労働時間の短縮に向けた取組を実施している企業の割合	50.3%	48.6%	55%

暮らしの安心を支える環境づくり

本格的な長寿社会を迎える中、高齢者がそれぞれの地域で健康で安心して暮らせる環境をつくとともに、年齢や男女、障害の有無や国籍に関わらず、誰もが社会の支え手として活躍できる社会をつくる。

【数値目標の達成状況】

目標項目	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標値(2020年(度))
健康寿命	男 71.74 年 [全国 1 位] 女 74.93 年 [全国 3 位] (2010 年)	男性 73.06 年 [全国 3 位] 女性 76.32 年 [全国 1 位] (2016 年)	男 75 年以上 [全国 1 位] 女 80 年以上 [全国 1 位] (2022 年)
労働力率	62.7% 1994 年 : 67.5% ⇒ 2004 年 : 64.0% ⇒ 2014 年 : 62.7%	62.4%	62.0%

【主な施策の実施状況と重要業績評価指標 (KPI) の達成状況】

(1) 健康長寿の推進、医療・介護・福祉の充実

①健康づくりの支援

- 保健師や歯科衛生士等の資質向上研修や健康づくりリーダーの育成研修の実施
- 地域間の健康格差縮小をめざした医療圏ごとの研修や出前講座、広報啓発活動の実施
- 特定健診等普及啓発強化月間(6月)における普及啓発(大規模小売店舗のサイトに健診受診の勧奨PR文を掲載等)
- 「栄養改善プログラム」、「運動器の機能向上プログラム」等の普及推進
- 店舗等と連携した健康情報の発信を行う健康づくりチャレンジ推進事業の実施
- 「愛知県アルコール健康障害対策推進計画」の策定(2017年3月)・推進、啓発リーフレットの作成・配布等
- 従業員の健康保持・増進を推進する「健康経営」に取り組む企業等の表彰や情報発信(2018年度新規)

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標(2020年(度))
健康づくりリーダーの養成数(年間)	2,231 人(2011年度)	2,826 人	3,024 人以上
健康格差(地域や社会経済状況の違いによる健康状態の差)の把握に努める市町村の数	12 市町村(2011年度)	32 市町村	46 市町村

②地域医療の確保

- 県庁の「愛知県地域医療支援センター」による女性医師等の就労支援や若手医師の育成等の医師確保対策の実施
- 新人看護職員研修への支援、看護職カレッジ研修の開催、看護師の無料職業紹介等を行うナースセンター事業の実施(2015年7月:ウイングあいちにサテライト設置)、県立学校での看護師の養成
- 郡市区医師会が設置する「在宅医療サポートセンター」への支援、「在宅医療連携システム」の導入支援などの在宅医療の充実・強化(2015~2017年度の3か年)

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標(2020年(度))
在宅療養支援診療所数(累計)【修正】	726 か所	754 か所	857 か所 ⇒ 853 か所

③地域包括ケアシステムの構築

- 3か年(2014~2016年度)のモデル事業の実施、モデル事業報告書の作成(2017年度)、地域包括ケアイベントの開催
- 団地モデル事業の実施(春日井市高蔵寺ニュータウン)の実施(2016年度~2017年度)
- 認知症に理解の深いまちづくりの実現に向けた「あいちオレンジタウン構想」の推進(2018年度新規)

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標(2020年(度))
地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいる市町村数	—	43 市町村	全市町村

(2) 全員活躍社会づくり

①高齢者の就労・社会参加の促進

- 中高年齢離職者再就職セミナーの開催、企業向け高年齢者雇用推進セミナーの開催

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標(2020年(度))
高齢者(65歳以上)の労働力率(年平均)	23.8%	22.9%	1ポイント以上改善

②障害者の就労促進

- 特別支援学校における就労支援の充実(就労アドバイザーを拠点校となる高等特別支援学校2校に各1人配置、知的障害特別支援学校職業コース設置(2017年度4校)、就労支援のための映像資料の作成及び研修会の実施(2017年度))
- 障害者の就労を支援する専門家の養成(2017年度研修修了者:28人)
- 精神・発達障害者や企業向けの勉強会や面接会の開催、障害者ワークフェアの開催
- 障害者を初めて雇用する中小企業に対する奨励金の給付(2017年度:5件)

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標(2020年(度))
特別支援学校高等部卒業生の一般就労の就職率	36.7%	38.2%	50%
民間企業における障害者の法定雇用率達成【修正】	1.74%	1.89%	2.0% ⇒ 2.3%

(3) 多文化共生の推進

- 公立学校における日本語教育適応学級担当教員の配置(2017年度:391人)、公立小中学校への語学相談員の配置・訪問指導(対象児童生徒:約1,400人)、県立高校への支援員派遣による学習活動や学校生活支援(対象生徒:232人)
- 外国人児童生徒等による日本語スピーチコンテストの開催(2017年8月:応募者79人)
- 日本語学習支援基金を活用した外国人の子どもへの学習支援(2017年度:日本語教室53団体85教室、外国人学校6校)
- 「あいち医療通訳システム」の運営、外国人労働者の適正雇用と日本社会への適応促進憲章の普及、災害時の多言語支援センター設置に向けた体制整備

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標(2020年(度))
外国人の子どものプレイスール実施市町村数	15 市町	16 市町	増加

(4) 地域防災の担い手確保

- 防災・減災カリッジの開講による防災リーダーの育成
- 家具固定ボランティアの養成（45人）、民間事業等とタイアップした転倒防止対策、防災教育センターでの家具固定器具の取付等の講習、避難所運営ゲームの体験講習、災害図上訓練の体験講習の実施
- あいち消防団応援の店制度の導入（874店）、消防団一日入団体験の実施、学生消防団活動認証制度の普及、消防団加入促進事業費補助金による助成
- 学生消防団交流シンポジウムの開催、女性消防団活性化推進プログラムの実施

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
地域防災リーダー育成（防災・減災カリッジ 地域防災コース受講者数）（年間）	68人 (2012～2014年度の平均)	98人	90人
学生消防団員数（累計）【修正】	274人	563人 (2018年4月1日現在)	535人⇒680人

(5) 行政とNPO等との連携、協働

- NPOと行政の協働に関する実務者会議の開催（3回）、NPOと行政の意見交換会の実施（2回37人参加）
- 大学生・社会人向けプロボノ講座の実施（3回54人参加）、プロボノのNPOへの派遣（5団体25人派遣）、活動報告会等の実施

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
協働レベルブック・評価実践シートによる評価点の平均	86.2点	87.8点	88.3点以上 (100点換算)

6 活力ある地域づくり

地域資源を生かした個性や魅力にあふれる地域をつくとともに、県内主要都市の機能集積や周辺地域との連携を図ることなどにより、各地域が活力を維持し、県内のバランスある発展を実現する。

【数値目標の達成状況】

目標項目	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標値(2020年(度))
1人当たり県民所得	国を19%上回る(2003~2012年度の平均) 国を25%上回る(2012年度)	国を19.7%上回る (2015年度)	全国平均を25%上回る
三河山間地域、離島及び 周辺地域の観光客数	【三河山間地域】 620万人(2013年) 【離島及び周辺地域】 1,277万人(2013年)	【三河山間地域】 763万人(2016年) 【離島及び周辺地域】 1,280万人(2016年)	【三河山間地域】 年間650万人 【離島及び周辺地域】 年間1,341万人
三河の山里ポータルデスク等を 通じた移住者数	154人(2014年)	408人 (2016年度248人)	5年間で800人

【主な施策の実施状況と重要業績評価指標(KPI)の達成状況】

(1) 三河山間地域、三河湾の島々及び周辺地域の振興

①暮らしの安心を支える環境の整備

- へき地医療拠点病院・診療所への助成(2017年度:9医療機関)、へき地医療確保看護修学資金の創設・貸与(2015年度:4人、2016年度:5人、2017年度5人)
- バス運行対策事業による支援、過疎バス路線維持事業による支援(37路線)
- 国道257号、国道420号、国道153号伊勢神改良等の整備
- 「へき地・複式教育研究協議会」「へき地指導者研究協議会」の開催、スクールバスの運営補助

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標(2020年(度))
代診医等派遣要請に係る充足率	97.5%	100%	100%
三河山間地域のバスの路線数	37路線	37路線	現状維持

②小規模高齢化集落の維持・活性化

- 交流移住マッチング事業の実施、情報の受発信、移住促進のために取り組む集落への支援
- 「三河の山里ポータルデスク」による都市住民との交流イベントの開催
- 民間バスや市町村営バスの運行に対する補助

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標(2020年(度))
三河の山里ポータルデスク登録者数(累計) 【再掲】	27人	51人 (2017年度15人)	100人

③交流居住の促進

- 「愛知県交流居住センター」との連携による交流イベントの開催、住宅・農地等の情報の提供等
- グリーンツーリズム、ベイトゥリズムのモデルルートの開発・情報発信
- 首都圏広域プロモーション「あいちの山里暮らし相談会 in 東京」への出展等

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標(2020年(度))
あいちの山里暮らし相談会参加者数	—	360人 (2017年度122人)	5年間で1,000人

④多彩な地域資源を生かした観光による地域の活性化

- SNS等を活用し、東三河の魅力情報を発信・拡散させる取組や東三河ブランド創出に向けた魅力の「見える化」を実施
- 東三河の旅行商品の造成を目標とした企画・販売に対する支援
- プロセッサーの実施、ブランディング会議の開催などによる、あいちの離島及び周辺地域の情報の一体的な発信

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標(2020年(度))
三河山間地域の観光客数(年間)	620万人(2013年)	763万人(2016年)	650万人
離島及び周辺地域の観光客数(年間)	1,277万人(2013年)	1,280万人(2016年)	1,341万人

⑤地域の特性を生かした農林水産業の振興

- ICTを活用した先端技術「あいち型植物工場」導入の際の経費補助(11地区)
- 高性能林業機械の導入支援、ICTを活用したスマート林業の推進(2018年度新規)、少花粉がの苗木安定供給、循環型林業の技術実証・普及
- 「農起業支援センター」における、就農希望者・企業の相談や生産技術指導による支援、農業次世代人材投資資金による支援、女性農業者の活躍支援、各地農業塾の連携強化
- 愛知県林業労働力確保支援センター、漁業就業者確保育成センター等と連携した就業相談
- 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域共同活動への支援
- NPOや民間事業者との共同による愛知産ジビエのPR、愛知産ジビエの販路拡大と消費拡大の情報を発信する関係者のネットワーク組織の形成
- 東三河地域における農商工連携による新商品の開発支援

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2017年(度))	目標(2020年(度))
三河山間地域及び離島の主要な産直施設の年間販売金額	12.3億円(2013年度)	16.1億円	13億円

(2) 東三河地域における産業人材の確保

- 東三河地域の就業環境の魅力発信、就活準備セミナーの開催（2017年度：2回）
- 東三河企業訪問ツアー（2017年度：2回）の実施による、学生のUIJターン就職の促進

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
東三河地域企業のインターンシップ受入可能企業数（年間）	37社	117社	90社
東三河地域企業へのUIJターン就職希望者数（年間）	—	42人	25人

(3) 持続可能で活力あるまちづくり

①集約型まちづくりの推進

- 土地区画整理事業や市街地再開発事業、都市再生整備計画事業の促進
- 歩道、道路照明・標識等の整備、事故危険箇所対策の推進、歩行空間のバリアフリー化
- 名古屋環状二号線、名豊道路、西知多道路（2016年度一部区間事業化）、衣浦豊田道路の整備促進、浜松三ヶ日・豊橋道路、名岐道路の調査促進
- あいち集約型まちづくりモデル検討、都市計画区域マスタープラン検討、愛知の都市づくりビジョン策定
- 市町村が行う空家対策推進事業への支援（空家等対策推進事業費補助金（2017年度：35件））

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
都市計画区域マスタープランの改定	—	—	マスタープラン改定
立地適正化計画策定市町村	—	8市	5年間で5市町村

②商店街の活性化

- げんき商店街推進事業費補助金制度・商業振興事業費補助金制度による商店街活性化に向けた取組支援
- 商店街と大学、地域住民、NPOなどの地域・商店街を応援する多様な主体との連携を促進するためのマッチング支援

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
商店街の活性化成功事例	—	—	5年間で25件
主な商店街のうち、通行量の改善した商店街の割合	—	91.7%	各年度60%

③公共交通ネットワークの維持・充実

- 「あいち公共交通ビジョン」の策定（2017年3月）とそれに基づく広域的な公共交通の利用促進や利便性向上を図る取組等を実施する団体への支援（2017年度：3団体）
- 名鉄三河線複線化等による豊田市方面への速達化に向けた検討、鉄道高架事業の推進

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
2016年度までにあいち公共交通ビジョンを策定	—	策定済	2016年度策定
地域公共交通網形成計画の策定市町村数【修正】	6市町村	26市町村	16市町村 ⇒28市町村

④ICTの利活用による地域活性化

- 県有施設における無料公衆無線LAN環境の整備（2017年度：11か所）
- 市町村が整備する在宅医療連携システムへの支援（2015～2017年度）
- 鳥獣被害対策におけるICTの利活用支援、コソジカ等による森林被害の軽減化技術の確立

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
在宅医療連携システム導入市区町村数	—	62市区町村	全市区町村（2017年度）
授業中にICTを活用して指導できる教員の割合	63.7%	67.0% （2017年3月1日現在）	80%

⑤持続可能なエネルギー社会の構築

- 知の拠点あいちにおける「新エネルギー実証研究エリア」の運営、「愛知県新エネルギー産業協議会」における各種研究会の開催
- 「産学官連携・愛知県農業用水小水力発電推進検討委員会」における推進方策の検討や技術支援
- 下水汚泥の消化によるバイオガスのエネルギー利活用施設の運営（豊川浄化センター：2017年2月供用開始、矢作川浄化センター：2016年11月供用開始）
- 豊田市低炭素社会システム実証プロジェクト等、県内における先進的な取組成果の普及促進、愛知県建築物総合環境性能評価システム（CASBEE あいち）の普及

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
住宅用太陽光発電の普及基数（累計）	12.4万基 （普及率4.3%）	16.7万基 （普及率5.9%） （2016年度）	40万基 （普及率約14%）
2016年度までに下水汚泥の消化によるバイオガスのエネルギー利用開始（豊川浄化センター、矢作川浄化センター）	—	供用済	2016年度供用

⑥「環境首都あいち」を支える担い手の育成

- AELネット（愛知県環境学習施設等連絡協議会）環境学習スチューデントの開催（2017年度：66,984人参加）、エコアクション推進フェアの開催（2017年11月）
- 企業の環境課題に対し、学生研究員が解決策を提案し、発信する「人づくり」事業の実施（かがやけ☆あいちサステイブル研究所）
- 高校生が環境問題に関するテーマを調査・研究して作成した環境学習教材を作成、作成した教材の普及（あいちの未来クリエイティブ部）
- 中高年・シニア世代を環境学習の講師として養成し、環境学習施設などで講座を実施（あいちECOティーチャー養成校）（2018年度新規）
- ユネスコスクール支援会議の開催（2017年度：3回、累計：9回）、ESD活動・研修の促進、ユネスコスクール交流会の開催

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
環境面における持続可能な地域づくりのリーダーとなる大学生数（年間）	—	40人（2016年度）	各年度20人以上

⑦地産地消の推進や都市と農山漁村との交流等を通じた活力ある地域づくり

- 生産者、流通関係者との交流による商品開発や販路開拓を支援する「いいともあいち交流会」の開催（商談数：718件）
- 「いいともあいち運動」ネットワーク会員や推進店の登録数の拡大（2017年度末：会員数1,521会員、推進店1,064店舗）、地場産物を取り入れた「学校給食献立コンクール」等の開催
- 関係者と連携した「あいち認証材」の普及・啓発、県産木材を利用した住宅建設への支援
- グリーンツーリズム・ベイトゥリズムのモデルートの開発・情報発信、食と花の街道認定（2街道）
- 杉原千畝氏を顕彰する施設の整備、道徳教育において地域ゆかりの偉人をまとめた副読本や地域に根付く伝統・文化、地域でのボランティア活動などを取り上げた教材の活用

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
愛知県が行う6次産業化への支援件数【再掲】	227件	731件 (2017年度272件)	5年間で1,135件
三河山間地域における中高連携を通じた交流事業数	3件	3件	増加

⑧公共施設等の適切な維持・管理

- 県有施設利活用最適化推進会議の開催、施設類型ごとの長寿命化計画（個別施設計画）の策定
- 有料道路コンセッション方式の導入（2016年10月事業開始）
- PFI手法による豊川浄化センター汚泥処理施設等整備・運営事業（2016年10月運営・維持管理開始）、愛知県環境調査センター・愛知県衛生研究所整備等事業、愛知県警察運転免許試験場整備等事業、愛知県営住宅整備等各事業の推進、愛知県国際展示場コンセッション方式の導入

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
個別施設計画の策定	7施設類型について策定済	7施設類型について策定済	2020年度
民間事業者による有料道路の管理運営の実現	—	供用済	2016年度中

（4）地域間連携・広域連携の促進

- 事務の共同処理や公共施設の相互利用などの連携の可能性に関する調査・検討
- 東三河振興ビジョンの推進、「元気な愛知の市町村づくり補助金」を活用した支援
- 三遠南信地域連携ビジョン推進会議等への参画を通じた取組推進（三遠南信サミットへの参加：2017年10月、浜松市）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
東三河広域連合に対する支援事業数	—	3事業 (2017年度1事業)	5年間で5事業

（5）地域の自主性・独自性の発揮

①地方分権改革の推進

- 国から地方への事務・権限移譲や義務付け・枠付けの見直し等について国へ要請
- 地方分権・道州制セミナーの開催（2017年度：127人参加）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
国から地方への事務・権限の移譲や義務付け・枠付けの見直し等を提案し、5年間で5件の実現	—	8件 (2017年度2件)	5年間で5件

②地方税財源の充実強化

- 地方一般財源の確保・充実、国税の法定率の引上げ等による地方交付税総額の増額、臨時財政対策債の抑制及び速やかな廃止を国に対して要請
- 地方法人課税の見直しについて、地方税の受益と負担の基本的な原則等をしっかりと踏まえた議論と、全ての地方自治体の財政運営等に悪影響が生じないための適切な措置を国に対して要請
- 「新しい経済政策パッケージ」に基づく施策における必要な地方財源の確保を国に対して要請
- ふるさと納税について返礼品や控除方法を含めた見直しを行うよう国に対して要請

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
毎年2回以上国へ要請し、地方法人特別税・譲与税の早期撤廃をはじめ、地方税財源の充実強化を実現	—	要請活動4回実施	毎年2回以上国へ要請。地方税財源の充実強化を実現

③国家戦略特区の指定を踏まえた展開

- 区域計画に位置付けられた取組の実施（農業支援外国人材を受け入れる企業の申請受付開始（2018年4月）など）
- さらなる具体的な取組を区域計画に位置付け（近未来技術、農業分野、外国人材などの認定）
- 新たな規制緩和を国に提案（外国人雇用特区、医療ツーリズムの推進など）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2017年（度））	目標（2020年（度））
国家戦略特別区域計画に位置づけられた事業数	—	22事業 (2017年度3件)	5年間で28事業以上